

各団体 年頭所感

## 時代の流れに適切に対応

佐賀県建設業協会会長 松尾 哲吾



あけましておめでとうございます。

平成31年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、7月豪雨や台風、北海道胆振東部地震等全国各地で大規模な災害が頻発しました。被災されました方々に対して、改めて、お見舞い申し上げます。公共事業関係予算は下げ止まり、設計労務単価の見直しも続

いており、また、働き方改革等建設産業の健全な発展に必要な施策が出されていますが、依然として地方の建設業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。

特に、事業量の地域間格差は年々拡大しており、地方の景気低迷と経済的格差を増大させ、地域の建設業にも大きな影響を与え、災害対応にも不安が生じています。

国においては、防災・減災、国土強靱化のための対策を、3年間集中的に実施するとの方針を示されました。国土強靱化への取組は喜ばしいことですが、

短期的に集中する事業では、先が見通せず、経営も安定しないため、業界の将来を担う若い人材を確保し、長期的に育成していくための人への投資も、中々できない状態になりますので、

中長期的な建設投資計画の策定と安定的な予算化が望まれます。また、年度末に工事完成時期が過度に集中することを避けるため、平準化対策として、債務負担行為など柔軟な制度運用が拡大されていますが、働き方改革や経営の安定化にもつながるように、発注の平準化から施工時期の平準化へと進み、県内の

皆様方には、本年も、一層の御支援、御指導をお願い申し上げます。御挨拶を申し上げます。

## 安全・安心な道路利用のために

佐賀県舗装部会会長 中野 武志



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さま方におかれまし

ては、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たち佐賀県舗装部会は、昭和41年に発会して以来、舗装工事専門企業の会として活動しています。会員各社の舗装技術の向上を目指し、一年を通じて現場の安全管理はもとより、最新技術の研修会、1・2級舗装施

工管理技士の資格取得講習会、アスファルトプラントにおける舗装材料の勉強会などを定期的に行っているほか、舗装工事における問題点について佐賀県と意見交換会を行うなど、舗装専門業者が抱える諸問題について協議を重ねています。このような舗装部会の活動に共感して頂き、昨年は13社の企業が入会しました。今年の部会活動は発会以来、最高会員数の24社にてスタートして参ります。

今後佐賀県舗装部会のみならず、建設業全体の課題である交通誘導員不足対策や、若手技

術者への舗装技術の伝承と人材育成の取り組みについて、率先して発注者との意見交換を行って行く他、全国レベルの技術習得、新工法・新材料・新機材についての勉強会に加え、AIやICTなどの導入によりi-Constructionを推進しています。

佐賀県は全国平均より一世代当たりの車の所有台数が多く、まだまだ道路の新設や維持管理は十分とは言えません。また、ここ数年、地震やゲリラ豪雨による災害が九州各地で発生しています。昨年は佐賀県におい

